

『(仮称) 清須子ども・はぐくみ宣言』について

1 趣旨

本市は、令和3年9月をピークに人口が減少に転じており、この人口減少に歯止めをかけ一層の発展を図るため、人口減少対策事業の一環として子どもや若者を地域全体ではぐくむまちづくりを推進していくという市の姿勢を宣言し、広く示す。

2 宣言文の策定方針

令和5年12月22日に閣議決定された『こども大綱』が目指す「こどもまんなか社会」を踏まえ、どのようなまちをつくっていく必要があるかを整理しつつ、清須らしさが残る形を宣言文の理想とする。

また、『こども大綱』において、「子どもの意見を聴き、反映する」ということが基本的な方針の1つに示されている。そこで、清須市立小学校及び中学校に在籍する児童、生徒に対し、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、策定する。

3 児童生徒アンケート

(1) 対象

- ・市立小学校に在籍する6年生の全児童
- ・市立中学校に在籍する2年生の全生徒

(2) 実施方法

学習用端末を用いたオンラインでの調査

(3) 調査期間

令和6年1月23日（火）から26日（金）まで

(4) アンケート内容・結果

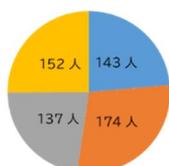
ア 児童生徒数・回答者数等

区分	在籍数 (令和6年1月1日時点)	回答者数	回答率
小学校第6学年	651人	606人	93%
中学校第2学年	623人	497人	80%

イ 回答内容

設問1 次の4つのまちの中から、「こんなまちで育ちたい」、「こんなまちで毎日を生きたい」と思うまちに、もっともあてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	小学校		中学校	
心も体も元気よく成長できるまち	143人	23%	138人	28%
笑顔があふれるまち	174人	29%	138人	28%
夢や希望を持つことができるまち	137人	23%	105人	21%
周囲の人や地域のみinnで支えあうまち	152人	25%	116人	23%



小学校第6学年



中学校第2学年

- 心も体も元気よく成長できるまち
- 笑顔があふれるまち
- 夢や希望を持つことができるまち
- 周囲の人や地域のみinnで支えあうまち

設問 2 上の 4 つのまちの他に、自分が育つ、生活するなら、「こんなまちがいいな」と思うまちがあれば、教えてください。

区 分	記載者数
小学校第 6 学年	326 人
中学校第 2 学年	184 人

主な意見の内容※	小学校	中学校
安全なまち（治安が良い、事故が少ない、犯罪のないなど）	45 人	20 人
楽しい、明るいまち	19 人	25 人
みんなの仲が良い、地域の関係が良く、協力しあうまち	37 人	17 人
お店や娯楽施設などが充実したまち	19 人	19 人
自然が豊かなまち、自然を大切にするまち	27 人	9 人
体を動かすことができる環境があるまち （公園やスポーツのゴール等があるまち）	27 人	7 人
きれいなまち（ごみが少ない、川がきれいなど）	19 人	6 人
優しい、思いやりのある人が多いまち	19 人	4 人

※ 各学校区分において、記載者数の約 5 % 以上の回答があった意見を記載。
（小学校 16 人以上、又は中学校 9 人以上の記載があった意見）

4 宣言文（案）

『清須子ども・はぐくみ宣言』

子どもや若者は、現在そして未来を担うかけがえのない存在であり、清須市の大切な宝物です。

その宝物がより輝くためには、子どもや若者が心身ともに健やかに成長できる環境を整えていかなければなりません。その一つとして、子どもや若者が安心して毎日を過ごすことができるような笑顔あふれるまちになっていることも重要となってきます。

また、きらきらと輝く夢や希望を叶えるために、自身の希望と意欲に応じて、のびのびと挑戦できる環境を整えていく必要があります。

さらには、苦しいとき、悩んでいるときに、子どもや若者を周囲の人や地域の人支えていくことも重要となってきます。

これらの環境を整えていくことは、私たち清須市民が果たすべきことであると考え、明日を創る子どもや若者を地域全体ではぐくむまちづくりを推進することを決意し、ここに『清須子ども・はぐくみ宣言』を宣言します。

令和6年4月●日
清須市長 永田 純夫